

# 令和3年度 公益財団法人栃木県スポーツ協会事業報告書

## 基本方針

令和3年に開催された東京オリンピック・パラリンピック、更には、令和4年に本県で開催される第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」等、大規模なスポーツイベントによる県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化している。こうした中、栃木県が策定した栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」のめざすとちぎの将来像である「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」や「栃木県スポーツ推進計画 2025（とちぎスポーツ推進プラン）」の基本理念である「スポーツを通じて夢や感動を共有しスポーツで人生を豊かにする“とちぎ”の実現」に向け、スポーツを通じた人づくりとスポーツの振興を図るため、「スポーツ参画人口の拡大」と「スポーツ施設の充実とスポーツによる地域活性化」を進めながら、「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の育成」を目指して、各種事業を推進することとした。

このため、令和3年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成等の諸事業を推進するとともに、スポーツの普及と充実を図った。

また、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」における天皇杯、皇后杯の獲得を目指し、県競技力向上対策本部と連携を図りながら競技力向上事業を推進した。

さらに、これらの諸事業を推進するための拠点施設として、栃木県総合運動公園北・中央エリアの運動施設、とちぎスポーツ医科学センター、今市青少年スポーツセンター、栃木県体育館の適切な維持と管理運営に努めた。

## 1 スポーツ振興事業

### (1) 各種大会開催事業

#### 栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため地方大会（市町大会）、中央大会ともに中止とした。

### (2) スポーツ医・科学事業

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部からスポーツ医・科学サポート事業の委託を受け、国体強化における効果的なスポーツ医科学支援のあり方に向けた調査研究及び競技団体へのトレーナーの派遣を行い、競技力の向上に努めた。

#### ア トレーナー帯同事業

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向け、（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー等を国体関東ブロック大会及び冬季大会に派遣し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようサポートした。

#### イ 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員会（令和4年 1月12日（水） 都丸整形外科）

健康管理調査研究班員会（令和4年 1月19日（水） 都丸整形外科）

#### ウ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動

冬季国体栃木県選手団ドーピング防止研修会

（令和4年 1月11日（火） 日光千姫物語 44名参加）

#### エ 女性アスリートサポート事業

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部から女性アスリートサポート事業を受託し、女性アスリート特有のスポーツ障害を予防し、競技力を向上が図れるようとちぎスポーツ医科学センターと協力し、問診・血液検査・各種サポートを実施した。

① 血液検査の実施

対象者は血液検査を実施し、協力ドクターによるスクリーニングを実施し、その結果をもとに協力栄養士から指導を受け、貧血・月経症状の予防・改善に努めた。

② 各種サポート

とちぎスポーツ医科学センターと協力し、対象チームに必要なサポート（栄養指導・心理指導・トレーニングリハビリ指導・医事相談）を実施した。

(3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。

〔令和3(2021)年2月14日(水)に開催予定の授賞式は、新型コロナウイルス感染症対策で中止した。〕

ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者7名を表彰した。

イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した2団体を表彰した。

ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手24名を表彰した。うち、4名は国際大会で3位以内に入賞し、スポーツ優秀選手賞特別賞を受賞した。

エ 船田スポーツ賞

若手指導者として、国体、国際大会等で優秀な成績を収めた選手を育成し、今後も活躍が期待できる3名を表彰した。

オ 国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状

「いちご一会とちぎ国体冬季大会」において、優秀な成績を収めた2競技の監督4名及び選手36名に感謝状を贈呈した。

カ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、(公財)栃木県スポーツ協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で選手17名を表彰した。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア 公認コーチ1・公認コーチ2養成講習会の開催

①公認コーチ1養成講習会は、スポーツクラブや運動部活動等でコーチングスタッフとして基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する者の養成を目的とし開催し、空手道の専門科目において33名が受講した。

②公認コーチ2養成講習会は、スポーツクラブや運動部活動等で監督やヘッドコーチ等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督することと併せて、コーチ間の関わり及び成長を支援する者の養成を目的としているが、令和3年度の実施希望がなく開催していない。

イ スポーツ指導者研修会の開催

(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として令和3年7月11日(日)に開催し、ユウケイ武道館において78名の参加者を得て実施した。当初は令和4年2月6日(日)にも開催を予定していたが、まん延防止等重点措置の対応を踏まえ中止とした。

(5) 広報事業

県民の理解と協力を得るため、本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努めた。

- ア とちぎスポ協だよりの発行
- イ スポ協アワー（栃木放送）による広報
- ウ 栃木県体育館月報の発行
- エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行
- オ ホームページによる広報
- カ その他新聞・放送等の媒体による広報
- キ イベントニュース（栃木県総合運動公園行事案内）の発行

(6) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

- スポーツ教室種目（5月～12月） 5講座（実施講座）
  - ・美温活 1講座（11～12月：昼間）（参加者 延べ 140名）
  - ・ピラティス 1講座（5～6月：昼間）（参加者 延べ 82名）
  - ・バレトン 1講座（11～12月：夜間）（参加者 延べ 48名）
  - ・オレフィット 1講座（5～6月：夜間）（参加者 延べ 33名）
  - ・テニス 1講座（10～11月：昼間）（参加者 延べ 190名）
- スポーツ教室種目（とちぎスポーツ医科学センター実施分）
  - 【対面講習会】
    - ・筋力トレーニング講習会（初級） 1講座（5～7月：夜間）（参加者 延べ 48名）
    - ・指導者向けトレーニング講習会 1講座（9～12月：夜間）（参加者 延べ 57名）
    - ※理論編（講義）のみオンライン開催
    - ・ピラティス 1講座（7～8月：夜間）（参加者 延べ 56名）
    - ※一部コロナ禍によりオンライン開催
    - ・ジュニアアスリート教室 1講座（5～3月：夜間）（参加者 延べ 34名）
  - 【オンライン講習会】
    - ・スポーツ栄養学 2講座（4～8月、9～3月：夜間）（参加者 延べ 286名）
    - ・スポーツメディカル 1講座（4～9月：夜間）（参加者 延べ 99名）
    - ・競技別セミナー「サッカー」 1講座（9月：終日）（参加者 延べ 353名）
- とちぎの子ども元気塾事業  
将来を担う子ども達に、様々な運動（運動遊び）を行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。
  - ・期 間 7月～12月 全6回
  - ・種 目 アイスブレイク・バレーボール・ホッケー・ソフトボール  
親子リズムトレーニング・コーディネーション運動
  - ・参加人数 延べ 57名

(7) とちぎ広域スポーツセンター事業

ア 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。さらに、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

① クラブ設立・運営支援活動

- クラブアドバイザーを配置し、クラブ訪問等を通し運営の助言・指導を行った。
- スキルアップセミナー①

地域スポーツクラブ指導者および関係者に対し、リスク管理に伴うケガ予防に関する知識および指導力の向上を図り、県民総スポーツのさらなる推進に繋げることを目的に開催した（令和3（2021）年5月8日（土））。

○ スキルアップセミナー②

地域スポーツクラブ経営者および関係者が、学校部活動との連携に関する最新の知識や情報を得ることで自クラブの課題や対策を考え、個々のクラブのより良いクラブ経営に繋げることを目的に開催した（令和3（2021）年12月12日（日））。

○ スポーツクラブセミナー

地域スポーツクラブ及びスポーツ行政関係者を対象に、「これからの地域スポーツについて考える」をテーマとしたセミナーを開催した（令和3（2021）年8月1日（日））。

② 普及・啓発活動

○ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った（令和3（2021）年8月1日（日）、令和3（2021）年12月12日（日））。

○ 総合型SCフェスタ（スポーツイベント）の開催 ※開催中止（コロナ禍による）

イ スポーツリーダーバンク

指導者を必要としている団体・個人の依頼を受けて公益財団法人日本スポーツ協会公認資格指導者を紹介する指導者紹介制度を運用し、関係競技団体及び市町行政等と連携して周知・啓発を図り、指導者の紹介を行った。

## 2 スポーツ少年団育成事業

(1) スポーツ少年団組織運営事業

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

○ 市町におけるスポーツ少年団組織の充実

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

(2) スポーツ少年団指導者・リーダー育成養成及び派遣事業

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催した。

① 講習会・研修会の開催

○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔令和3年11月28日（日） 栃木県総合教育センターで実施23名が参加した。〕

○ ジュニア・リーダースクール ※開催中止（コロナ禍による）

○ リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを目的として、4回の研修会を開催した。〔延べ 22名〕

② スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

各単位団においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スタートコーチ(スポーツ少年団)」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程」に基づくスタートコーチ(スポーツ

少年団)養成講習会を開催し、県内3コース345名が参加した。

③ 中央事業への派遣

○ シニア・リーダースクール

スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクール(令和3年6月～9月 オンライン)が開催されたが栃木県からの派遣はなかった。

④ ACP普及促進研修会

アクティブ・チャイルド・プログラムを周知・普及することを目的として、本研修会を開催した。  
〔令和3年10月23日(土) 今市青少年スポーツセンターで実施 10名参加〕

(3) スポーツ少年団大会開催・派遣事業

全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図る。

ア 第59回全国スポーツ少年大会

期 日：令和3年9月19日(日)～20日(月)

会 場：オンライン(東京都)

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会(軟式野球・バレーボール・剣道)

① 軟式野球 ※開催中止(コロナ禍による)

② バレーボール ※開催中止(コロナ禍による)

③ 剣 道 ※開催中止(コロナ禍による)

ウ 令和3年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

期 日：令和3年6月12日(土)～13日(日)

会 場：オンライン(東京都)

〔指導者1名、リーダー1名参加〕

エ 第40回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 ※開催中止(コロナ禍による)

オ 第52回関東ブロックスポーツ少年大会 ※開催中止(コロナ禍による)

カ 第20回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

期 日：令和3年10月16日(土)

会 場：オンライン(群馬県)

〔指導者1名、リーダー2名参加〕

キ 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・バドミントン・空手道の6競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し2,287名の団員の参加があった。剣道・柔道の2競技については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

ク 交歓会 ※開催中止(コロナ禍による)

(4) スポーツ少年団国際交流事業 ※開催中止(コロナ禍による)

(5) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。

〔登録指導者表彰 7名、単位団表彰 4団〕

### 3 競技力向上事業

平成28年度まで、国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため各種事業を推進してきたが、平成29年度からは、選手育成強化事業が競技力向上対策本部へ一元化することに伴い、この事業を第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」終了まで一部を除き休止とした。

なお、国体選手等派遣事業については、競技力向上事業として、競技団体及び関係機関・団体と緊密な連携を図りながら事業の推進を図った。

また、第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部スポーツ医・科学サポート事業（県委託事業）をスポーツ医・科学事業の中で実施した。

(1) 国体選手等派遣事業

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図ることを目的として開催される国民体育大会に、本県選手団を派遣し、併せて大会で活躍した選手等を奨励することにより、県内の競技力向上とスポーツ振興を図った。

ア 国民体育大会栃木県選手団本部運営

国体本大会等への参加にあたり、選手・監督・関係者による「栃木県選手団」を結成し、結団式や指定証授与式の開催、各種大会への派遣・同行、その他関係機関との連絡調整など選手団本部運営に係る事務を行った。

イ 国民体育大会派遣費の補助

参加資格を有する者として競技団体が選考した選手等の国体本大会（先行競技を含む）、冬季大会、関東ブロック大会への派遣に要する経費（旅費、宿泊料等）の全部又は一部を補助した。

ウ 国民体育大会栃木県予選会開催経費の補助

競技団体が主催する当該年度の国体予選会の開催に要する経費（会場使用料）の一部を補助した。

エ スポーツ専門員配置

第77回国民体育大会競技力向上対策本部からスポーツ専門員配置事業の補助を受け、優れた競技技術・経験を有するもの55名を「スポーツ専門員」として雇用し、選手としての競技力向上、強化練習会等での本県選手への指導、助言及び県内高等学校での部活動サポート等を行い、本県競技力の一層の向上を図った。

(2) 選手育成強化運営事業（競技用具貸与支援のみ継続）

(3) 指導者養成事業（H29より休止）

(4) 選手育成強化補助事業（H29より休止）

## ※ 参 照 国民体育大会

(1) 関東ブロック大会（栃木県開催）

ア 実施競技（26競技）

○ 本大会競技 26競技

※本大会中止決定による開催中止 5競技（ホッケー、ボクシング、卓球、軟式野球、ラグビーフットボール）

○ 冬季競技 1競技（アイスホッケー）

イ 中心会期

○ 本大会 令和3年 5月30日（日）～ 8月22日（日）

○ 冬季大会 令和3年12月 3日（金）～12月 5日（日）

(2) 国民体育大会

ア 第76回本大会（三重県） ※開催中止（コロナ禍による）

イ 第77回冬季大会

○ スケート競技会（栃木県日光市） 令和4年 1月26日（水）～1月30日（日）

○ アイスホッケー競技会（栃木県日光市） 令和4年 1月24日（月）～1月28日（金）

○ スキー競技会（秋田県） 令和4年 2月17日（木）～2月20日（日）

## 4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並び

に競技スポーツの拠点として、施設の有効活用と適正な管理運営を図った。

(1) スポーツ教室開催事業

〈種 目〉

- ・ピラティス 1講座 (春：一般男女対象) (参加者 257名)
- ・ズンバゴールド 1講座 (春：一般男女対象) (参加者 89名)
- ・美温活リンパストレッチ ※開催中止 (コロナ禍による)

(2) 県民の日協賛イベント及び施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設の無料開放を実施した。

開 放 日：令和3(2021)年6月13日(日) 参加者：128名

- ・各施設の無料開放
- ・小学生ホッケーセミナー
- ・スポーツ教室の無料体験 (美温活リンパストレッチ、ピラティス)

(3) 施設貸与事業

宿泊者・外来者の利用促進

- ・宿泊利用者 684名
- ・施設利用者 30,588名

(4) 施設管理事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守点検・環境整備を実施した。

ア 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けた施設整備

- ・屋内スケートリンク改修工事 (天井幕の設置、照明設備のLED化、キュービクルの改修)

イ 環境整備

- ・各競技場の清掃、除草作業及び芝刈り
- ・倒木の撤去、伐採作業

(5) 日光市ホッケー場管理運営業務

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

## 5 栃木県総合運動公園北・中央エリア内スポーツ施設の管理運営及びとちぎスポーツ医科学センター運営事業

令和2年4月から、引き続き県民へスポーツ活動の場を提供し、更に国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に参加する選手の育成・指導者の養成及び県民の競技力向上に寄与する目的を達成するため、「栃木県総合運動公園北・中央エリア管理運営業務」及び「とちぎスポーツ医科学センター運営業務」を行った。

(1) 栃木県総合運動公園北・中央エリア管理運営事業

ア 施設管理業務

栃木県総合運動公園陸上競技場、栃木県総合運動公園武道館等の有料運動施設、とちぎスポーツ医科学センターの維持管理及び施設周囲の環境整備を行った。

令和3年度は新たに投てき場や合宿所が供用開始となったことから、中央エリアに利用調整課分室を設置し、施設管理体制の強化を図った。

イ 有料運動施設等の利用の許可に関する業務

- ・利用調整会議 令和4(2022)年1月27日(木)、2月21日(月)実施
- ・施設の利用状況

| 施設名        | 件数  | 利用人員(計) | 利用人員(団体) | 利用人員(個人) |
|------------|-----|---------|----------|----------|
| スタジアム      | 147 | 135,995 | 133,165  | 2,830    |
| 投てき場       | 4   | 585     | 398      | 187      |
| とちぎ医科学センター |     | 10,489  |          |          |
| トレーニングR    |     | 2,022   |          |          |
| 第2陸上競技場    | 61  | 50,025  | 38,600   | 11,425   |
| テニスコート     | 130 | 35,638  | 24,253   | 11,385   |
| 野球場(本球場)   | 81  | 66,590  |          |          |
| 野球場(ABC)   | 172 | 19,347  |          |          |
| サッカー場      | 40  | 4,588   |          |          |
| ラグビー場      | 17  | 2,050   |          |          |
| 相撲場        | 15  | 1,590   | 1,590    | 0        |
| ウォームアップ場   | 44  | 1,190   |          |          |
| 合宿所        | 5   | 145     |          |          |
| 武道館        | 336 | 46,876  | 44,128   | 2,748    |
| 弓道場        | 71  | 6,118   | 5,015    | 1,103    |

※投てき場は、令和3年6月1日供用開始

※合宿所は、令和3年7月1日供用開始(会議室利用のみ)

ウ 栃木県総合運動公園北・中央エリア等の運営に関する業務

利用者の利便性向上、利用促進を図るため、広報誌の作成・配布、ホームページにより周知を図った。

- ・イベントニュースの発行 年12回
- ・カンセキスタジアムとちぎの見学用パンフレットの作成
- ・総合運動公園の利用状況にあわせて、駐車場の利用等における情報を積極的にホームページに掲載
- ・多くの利用者の声を施設運営に反映させるため、スマートフォンによるアンケートを導入実施した。

エ 施設の点検整備等

施設利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の保守点検・整備及び委託契約を行った。

- ① 自家用電気工作物保安管理業務(北中央エリア)
- ② 消防設備保守点検業務(北・中央エリア)
- ③ 陸上競技場及びナーサリー芝管理業務(カンセキスタジアムとちぎ)
- ④ 多目的広場(投てき場)芝生年間維持管理業務
- ⑤ 多目的広場(投てき場)ほか管理業務
- ⑥ 夜間施設管理業務(施設等)(中央エリア)
- ⑦ 陸上機器保守点検業務(カンセキスタジアムとちぎ・第2陸上競技場)
- ⑧ 駐車場警備業務(中央エリア)
- ⑨ 多目的広場(投てき場)放送設備保守点検
- ⑩ 多目的広場(レストハウス・記録情報室)警備業務
- ⑪ ホームページ保守管理

<以下、カンセキスタジアム分>

① 総合管理業務委託

以下、内訳

- § 電気設備点検(雷、直流電源装置、照明制御等)
- § 大型映像装置点検、テレビ共聴、音響設備点検
- § 昇降設備、自動ドア、防火消防設備点検
- § 給排水設備点検(受水槽、加圧給水ポンプ、井戸ポンプ、雨水ろ過ユニット、電気温水器等)
- § 空調関係設備点検、中央監視装置点検
- § 清掃業務(日常清掃、定期清掃、繊維床清掃、窓ガラス清掃)、警備業務

オ ユウケイ武道館管理運営に関する業務

a 会議の開催

専用利用調整会議 令和4(2022)年2月15日(火) 武道館 会議室1・2

b 武道館協議会共催事業

- ① 地域社会武道指導者研修会(少林寺拳法)  
令和3(2021)年8月28日(土)～8月29日(日) ※開催中止(コロナ禍による)
- ② 地域社会武道指導者研修会(合気道)  
令和3(2021)年9月25日(土)～9月26日(日) ※開催中止(コロナ禍による)
- ③ 地域社会武道指導者研修会(弓道)  
令和3(2021)年11月13日(土)～11月14日(日)
- ④ 地方青少年武道錬成大会(なぎなた)  
令和4(2022)年1月29日(土)～1月30日(日) ※開催中止(コロナ禍による)

c 施設の点検整備

施設利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の保守点検・整備を行った。

- ① 地中熱ヒートポンプ設備保守点検
- ② 空調設備保守点検
- ③ 消防設備及び防火対象物保守点検
- ④ 非常用放送設備保守点検
- ⑤ 自家発電機法定保守点検
- ⑥ 弓道場あづち整備
- ⑦ 受水槽の清掃及び点検
- ⑧ エレベータ設備保守点検
- ⑨ 自動ドア保守点検

(2) とちぎスポーツ医科学センター運営事業

ア 測定に基づくスポーツ医科学に関する業務

対象選手の体力測定等を行い、測定結果をもとに各分野の専門家による「トレーニング・リハビリテーション指導」「医事相談」「栄養指導」「心理指導」等を実施した。

イ スポーツ医科学に関する情報の発信

スポーツ医科学に関する情報やセンターに関する情報をホームページ等により発信した。

ウ 会議の開催

- ・とちぎスポーツ医科学センター運営委員会(3回)  
6月24日(木)、10月28日(木)、2月24日(木)

エ スポーツ教室の開催(再掲)

○ スポーツ教室種目(とちぎスポーツ医科学センター実施)

【対面講習会】

- ・筋力トレーニング講習会(初級) 1講座(5～7月:夜間) (参加者 延べ 48名)
- ・指導者向けトレーニング講習会 1講座(9～12月:夜間) (参加者 延べ 57名)  
※理論編(講義)のみオンライン開催
- ・ピラティス 1講座(7～8月:夜間) (参加者 延べ 56名)  
※一部コロナ禍によりオンライン開催
- ・ジュニアアスリート教室 1講座(5～3月:夜間) (参加者 延べ 34名)

【オンライン講習会】

- ・スポーツ栄養学 2講座(4～8月、9～3月:夜間) (参加者 延べ 286名)
- ・スポーツメディカル 1講座(4～9月:夜間) (参加者 延べ 99名)
- ・競技別セミナー「サッカー」 1講座(9月:終日) (参加者 延べ 353名)

6 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、50年以上の長きにわたり利用されてきたが、令和3年12月をもって閉館となった。

令和3年度は、弓道場及び武道館会議室の貸館業務を行った。

- (1) 県民の日記念協賛事業（施設無料開放）  
令和3(2021)年6月15日（火） 弓道場 参加者：26名
- (2) 貸館業務（弓道場及び武道館会議室）
- |       |      |                          |
|-------|------|--------------------------|
| 利用者延数 | 専用利用 | 3,055名                   |
|       | 普通利用 | 1,649名（専用・普通利用合計 4,704名） |
|       | その他  | 855名（会議室 829名）           |
|       | 合計   | 5,559名                   |

## 7 スポーツ安全協会委託業務

公益財団法人スポーツ安全協会から委託を受け、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

## 8 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を行った。

### (1) 理事会（5回）

第1回理事会（令和3(2021)年6月3日（木））

審議事項 1. 令和2(2020)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業報告について 2. 令和2(2020)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支決算について 3. 顧問の推挙について 4. 理事候補者の推薦について 5. 75年誌の発刊について

報告事項 1. 職務執行状況の報告について

第2回理事会（令和4(2022)年1月13日（木））

審議事項 1. 令和3年度スポーツ顕彰について 2. 栃木県スポーツチャンバラ協会の加盟について 3. 顧問の推挙について 4. 総務委員会委員の選任について 5. 常勤役員に対する報酬等の支給額について 6. 令和3(2021)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会補正予算について 7. 公益財団法人栃木県スポーツ協会定款の変更について

報告事項 1. 評議員選定委員会の報告について 2. 臨時理事会の開催について 3. 職務執行状況の報告について

臨時理事会（令和4(2022)年2月9日（水））

審議事項 1. 公益財団法人変更認定申請について 2. 令和4(2022)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画について 3. 令和4(2022)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算について 4. 特定資産（栃の葉国体記念スポーツ振興基金）について 5. 公益財団法人栃木県スポーツ協会第2回評議員会の招集及び提出議題について

報告事項 1. 公益財団法人栃木県スポーツ協会スポーツ顕彰受賞者について

臨時理事会（令和4(2022)年3月15日（火））書面決議

審議事項 1. 令和3(2021)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会第2回評議員会の決議日及び開催方法の変更について

第3回理事会（令和4（2022）年3月28日（月））

審議事項 1. 今市青少年スポーツセンター施設等使用料金の改定について 2. 公益財団法人栃木県スポーツ協会諸規程の制定及び改正について 3. 令和4（2022）年度公益財団法人栃木県スポーツ協会第1回評議員会（定時評議員会）の招集及び提出議題について 4. 職員の表彰について

報告事項 1. 令和4（2022）年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算書の修正について

(2) 評議員会（2回）

第1回評議員会（令和3（2021）年6月22日（火））

審議事項 1. 令和2（2020）年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業報告について 2. 令和2（2020）年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支決算について 3. 顧問の推挙について 4. 理事の選任について 5. 評議員候補者の推薦について

報告事項 1. 75年誌の発刊について

第2回評議員会（令和4（2022）年3月28日（月））書面決議

審議事項 1. 栃木県スポーツチャンバラ協会の加盟について 2. 顧問の推挙について 3. 公益財団法人栃木県スポーツ協会定款の変更について

報告事項 1. 令和4（2022）年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画について 2. 令和4（2022）年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算について 3. 評議員選定委員会の報告について

(3) 専門委員会

ア 総務委員会（3回）

イ スポーツ医・科学委員会 ※開催中止（コロナ禍による）

ウ 競技力向上委員会（休止）

(4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。〔 賛助会員204者、366口 〕

(5) 国際交流事業

日韓・日中・日露スポーツ交流事業、地域交流推進事業 ※開催中止（コロナ禍による）